

2025年12月15日

グロービス

ニュースリリース

グロービス、IT・デジタル変革リーダー表彰「CIO 30 Awards Japan 2025」でLeadership Award受賞！ AIによる教育革新に向けた、全社変革に高評価

株式会社グロービス(本社:東京都千代田区、代表取締役:堀 義人)は、2025年12月12日にグランド ハイアット 東京(所在地:東京都港区)で開催された日本のデジタル未来を牽引するリーダー表彰「CIO 30 Awards Japan 2025」において、「Leadership Award」を受賞しました。

「CIO 30 Awards Japan」は、テクノロジーでビジネス変革を牽引する先進的なCIO (Chief Information Officer) や国内企業を表彰するものです。その中でも「Leadership Award」は、リーダーシップを発揮し、IT戦略やDX推進に顕著な取り組みを行った企業に授与される特別賞です。



グロービス・デジタル・プラットフォーム 兼 AI戦略会議 責任者 鳥潟幸志

今回の受賞では、「新プロダクト創出を視野に入れた、全社的なAI活用推進を行っている」という点が評価されました。グロービスは、2025年1月に「AGI (AI / Global / Innovation)」を全社方針として掲げ、経営陣直轄の「AI戦略会議」を設置。AI活用・グローバル展開・事業モデル改革を統合的に推進しています。さらに、グロービス経営大学院や定額制動画学習サービス「LOBIS 学び放題」など主要サービスに10を超えるAI機能を導入し、学習体験を革新しています。

■「CIO 30 Awards Japan」とは

「CIO 30 Awards Japan」は、企業ITにおける卓越性を称える名誉ある賞であり、「テクノロジー業界のオスカー」とも呼ばれています。米国では「CIO 100 Awards」として、25 年を超える歴史を持ち、数多くのグローバル企業が

IT・デジタル変革の実績を通じて表彰されてきた、実績あるアワードです。

急速に進化するデジタルトランスフォーメーション(DX)や生成AIの実装が進む中、企業におけるCIOおよびIT部門の役割はますます戦略的なものとなっています。「CIO 30 Awards Japan 2025」は、変革をリードし、実際にビジネス成果を生み出してきたCIOやITリーダー、そしてその取り組みに関わる企業を表彰する、国内初の本格的なアワードです。

■グロービスにおける、全社的なAI活用推進 ～AIカンパニーへの進化を加速～

グロービスは、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」というビジョンのもと、社会で創造と変革を導くことができるリーダーの輩出を目指しています。その中核となる経営教育を次のレベルへ進化させるため、“AIを前提とした知識・教育モデル”を実装する「AIカンパニー」への変革を重要方針として位置づけ、全社的にAI活用を推し進めています。

ここでのAI活用は、単なる業務効率化ではなく、「教育の本質を再定義する挑戦」として、以下のような取り組みを行っています。

・社員92%が日常業務でAIを活用する全社改革

AIカンパニーへの変革を実現するために、グロービスでは、2025年の全社方針を「AGI(AI／Global／Innovation)」と掲げました。この方針に基づき、経営陣直轄の「AI戦略会議」を設置。「AI戦略会議」は、社内生産性向上、教育手法の進化、AIファーストな新プロダクトの創出をミッションとして、全社のAI活用に関する知見を集約するとともに、戦略の意思決定と迅速な推進を担っています。

AI戦略会議で定めた方向性を全社的に展開するのが、部門横断型少数精鋭プロジェクト「AIアクセラレートプロジェクト」です。同プロジェクトを中心に、各部門の主要業務にAIを導入し、業務改善と組織進化を同時に推進。また、部門を問わず全社的に必要となる生成AIガイドラインの策定やアップデート、AI問い合わせエージェントの構築、資料作成やセキュリティチェックの効率化などを推進しています。

また、全社的なAIリテラシー向上のため、全社員を対象としたAI活用勉強会を実施。延べ530名以上が参加しました。勉強会は、ツールの使い方などの入門的な内容から、非エンジニア向けのプロンプトエンジニアリングやアプリ開発などより専門性の高い内容まで幅広く、また、セキュリティの社内ルールなども踏まえた形で実施。各社員が、自身の理解レベルや業務内容にあった学習ができる体制を整えています。


こうした取り組みの成果として、生成AIを日々の業務で活用する社員の割合は、2024年7月時点の40%から、2025年7月には92%まで飛躍的に向上しました。さらに、各部門で進める業務改善では、年間100時間を超えるケースが多数生まれ、社員のAIスキル向上と生産性向上が実現されています。

・AIで学び方を進化させる、経営教育の革新

グロービスは、AIによる教育手法の進化にも挑戦しています。グロービスが提供する主要サービスでは、既に10を超えるAI機能を組み込み、講師の機能をAIで補完する教育手法の開発や、学習者がAIとともに学ぶ新しい学習体験の提供を実現。従来は講師でなければ提供できなかった個別指導の質と深さをAIが再現し、受講者の学習効果を高めています。

代表的なシステムや機能には、特許取得したAIラーニングシステム「[GaiL\(GLOBIS AI Learning\)](#)」、AIによる自然言語テキスト解析エンジン「[GaiDES\(GLOBIS AI Document Evaluation System\)](#)」をはじめ、グロービス経営大学院で提供するAIを活用した対話型復習ツール「[GaiChaL-2.0\(GLOBIS AI Chat Learning\)](#)」、動画とAIで学ぶMBA単位「ナノ単科」のAIコーチング機能「[GaiC](#)」、GLOBIS 学び放題のパーソナルAIパートナー「[学びエージェント](#)」などがあります。

また、グロービス経営大学院や定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」においてAI・テクノロジーに関する教育コンテンツの拡充を進めることで、社会全体のAI活用スキル向上にも貢献しています。



パーソナル AI パートナー

学びエージェント

— 提供開始 —

AIとの対話で思考を深める

2025年11月より提供開始した「GLOBIS 学び放題」のパーソナルAIパートナー「学びエージェント」

グロービスは今後も、AIを活用した自社の組織変革と経営教育の革新により、「テクノバート時代の世界No.1 MBA」の実現を目指します。

◆グロービス (<https://globis.co.jp>)

グロービスは1992年の設立以来、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」ことをビジョンに掲げ、各種事業を展開してまいりました。「ヒト」の面では、グロービス経営大学院に加え、スクール型研修や集合研修など法人向け人材育成サービスを展開するグロービス・コーポレート・エデュケーション、eラーニングや定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」などを提供するグロービス・デジタル・プラットフォームにより、リーダーの育成を推進しています。「カネ」の面では、ベンチャー企業への投資・育成を行うベンチャー・キャピタル「グロービス・キャピタル・パートナーズ」を運営、「チエ」の面では、出版事業ならびにオウンドメディア「GLOBIS 学び放題×知見録」を通じて知の発信を行っています。さらに社会における創造と変革を促進するため、一般社団法人G1によるカンファレンス運営、一般財団法人KIBOW による震災復興支援および社会的インパクト投資などの活動を展開しています。

グロービス:

学校法人 グロービス経営大学院

・日本語(東京、大阪、名古屋、福岡、オンライン)／英語(東京、オンライン)

株式会社 グロービス

・グロービス・エグゼクティブ・スクール

・グロービス・マネジメント・スクール

- ・企業内研修
- ・出版／電子出版
- ・「GLOBIS 学び放題×知見録」／「GLOBIS Insights」
- ・「GLOBIS 学び放題」／「GLOBIS Unlimited」

グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社

顧彼思(上海)企業管理諮詢有限公司

GLOBIS Asia Pacific Pte. Ltd.

GLOBIS Asia Campus Pte. Ltd.

GLOBIS Thailand Co., Ltd.

GLOBIS USA, Inc.

GLOBIS Europe BV

GLOBIS Manila Inc.

PT. GLOBIS INDONESIA HUB

その他の活動:

- ・一般社団法人G1
- ・一般財団法人KIBOW
- ・株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント
- ・株式会社LuckyFM茨城放送

【取材に関するお問い合わせ先】

グロービス 広報室 担当:土橋涼

E-MAIL: pr-info@globis.com